

# 農業委員会だより

第3号

発行日：平成27年6月1日  
発行：大町市農業委員会  
編集：農業委員会だより  
編集委員会  
大町市大町3887  
TEL 22-0420

OMACHI

大町市

## 新しい農業委員が選任されました

任期満了に伴い、22名の農業委員が、選挙により無投票で選任されました。3名の団体推薦委員、4名の議会推薦委員も任命替えとなり、合わせて29名全員の委員が決まりました。

### 宇留賀 義孝

(須沼 議会推薦 4期)

担当地区 ■ 常盤 須沼 (下木戸・沓掛・穂波・北春午子・中春午子・西春午子・南春午子)



会長

4月9日に行われた臨時総会で、第22期会長に選出されました。前期で実績を積み重ねてこられた宮田会長の後任ということで正直荷が重いと感じていますが、精一杯努めてまいりますのでご支援をお願いいたします。

いま農業は、大きな変革期を迎えています。TPPをはじめ、就業者の高齢化、農産物の価格低迷など、厳しい環境にあって、国は農業政策を大きく変えようとしています。

ます。農協、農業委員会、農業生産法人の改革などにより、農業を成長産業へと転換することができるとは思いますが、大きな不安を抱えながら日々の農作業に精を出している農業者の方も多いと思います。

大町市は主食用米の生産が中心で、昨年の米価の下落によって大きな痛手を受けました。以前から米プラスワンとして、行政、農協など農業関係者は新たな農作物の普及に努めてきましたが、定着したとはいえない状況です。

平成30年度には、国による米の生産調整が行われなくなることで、農地の集約化を進めることなどにより、生産コストを40%削減するとされていることから、この先も米価格の低落傾向は続くものと思われまます。このため、米以外の作物により収入を確保することが喫緊の課題となっています。

農業委員会でも、昨年から栗と葡萄について研究を進めてきました。米栽培を集約的に行う一方で、大町市の気候風土に適し、高齢化が進む農業者にとっても取り組みやすい作物として遊休農地の発生を防止する有望な作物と考えられています。

なかなか縮小傾向に打開策を見いだせない農業ですが、農業で暮らしを立てようとする若い就農者が増えていくことは、明るい話題です。

ワイナリーを設立して、葡萄栽培を6次産業化しようとしている方をはじめ、葡萄、花き、リンゴなど新しい経営を模索して果敢に挑戦する若者達に新しい時代の息吹を感じて、勇気づけられます。また、市が進めている定住促進により移住してくる方々の中にも、農業に取り組みようとしている方が多いと伺っています。

こうした新規就農者を応援して、農業の活性化を図っていくこともこれからの農業委員会の大切な役割として取り組んでいきたいと考えています。

### 平林 芳樹 (俵町 公選 3期)

担当地区 ■ 大町 俵町・九日町・三日町・山田町・北山田町



会長代理

選挙廃止など大規模な農業委員会改革法案が国会で審議されます。現行の制度最後の3年間、会長代理に選任され身の引き締まる思いです。会長を補佐し委員の皆様と共に頑張る所存です。

### 傳刀 敬一 (借馬 公選 2期)

担当地区 ■ 借馬・西原



農地部会長

世界に誇れるこの美しい田園風景を、子ども、孫達に引き継ぐことが私たちの責務です。

遊休荒廃農地の発生防止と解消に全力で取り組みます。

**伊藤 宏昭** (館ノ内 公選 3期)  
担当地区 ■ 社 松崎・館ノ内・山下



農振部会長

地域農業者の皆様に適した最新の農業情勢、政策等をお伝えしていきます。  
遊休農地発生を抑制する作物として栗・葡萄の研究を現在遂行中です。

**小林 稔** (二重 公選 2期)  
担当地区 ■ 美麻 大塩・二重・新行



農地部会長代理

美麻地区には、山林化、原野化した農地が約490ヘクタールあり、早急に農地台帳を整理するとともに、守るべき農地の保全が課題だと感じています。

**関口 博文** (清水 公選 3期)  
担当地区 ■ 常盤 清水(中村上・中村中) 中村下・大久保北・大久保南



農振部会長代理

新しい農産物の普及には、販売・加工まで視野に入れた戦略が必要です。  
これまでの研究から、将来有望だと思われる栗の産地化に取り組みたいと思います。

**伊藤 元夫** (白塩町 公選 1期)  
担当地区 ■ 大町 白塩町・下白塩町・大黒町・十日町・六九町・堀六日町・相生町



農振部会

新人ですが、農業に対する気持ちと大町を愛する心では負けないつもりです。  
大町のきれいな自然環境を生かせる農業が発展することを目指して頑張ります。

**水島 健治**  
(東町 議会推薦 1期)  
担当地区 ■ 大町 高見町・旭町・仁科町・東町・五日町・神栄町・日の出町・光明町・上仲町・下仲町・八日町



農地部会

農業委員は、初めてなのでよく分かりません。  
農地部会にて、農地法等しっかりと勉強し頑張ります。

**宮田 富吉** (大原町 公選 5期)  
担当地区 ■ 大町 大原町・若原町・原町・東中原町・栄町・宮田町・幸町・不二塚町



農地部会

今、農業で生活することはご開帳で托鉢するよりも厳しい時代といえます。しかし農業者が農産物を生産しないと人間は生きていきません。農業者の味方として、農地のご相談にのりたいと思います。

**倉科 健一** (高根町 公選 1期)  
担当地区 ■ 大町 北原町・南原町・桜田町・東若宮町・西若宮町・大新田町・高根町



農地部会

農業委員の経験はありませんが、地域の皆様のお役に立つことができるよう努力いたします。

**北澤 要** (海ノ口 議会推薦 2期)  
担当地区 ■ 平 加蔵・青木・中綱・海ノ口



農地部会

農業を取り巻く厳しい環境の中、平北部の農業委員としてスタートを切りました。  
農業は安定した収入が得にくく、高齢化が進み、担い手が地区内にいない状況の中で、どのようにして農地、生活環境、景観を維持するかという課題に取り組みます。

**傘木 篤** (稲尾 農協推薦 2期)  
担当地区 ■ 平 稲尾・山崎・森



農地部会

米生産調整政策の転換、農協、農業委員会、農業生産法人の制度改革など大きく変わる農業情勢に対応するとともに、遊休荒廃農地の整理を進め、活力ある農業振興に取り組みます。

**中村 勝彦** (木崎 公選 1期)  
担当地区 ■ 平 木崎・塩の原・外堀・白樺



農地部会

変革期にある農業の現状を踏まえ、あるべき姿を見据えた委員会活動の一翼を担いたいと思います。



**北澤 寛** (源波 公選 1期)  
担当地区 ■ 平 源波・鹿島・温泉郷・二ツ家・中花見・仁科郷・新郷



農振部会

米価低迷と有害鳥獣被害に悩まされ、農業離れが懸念される今日、遊休荒廃農地の発生防止と解消に全力で取り組みます。

**吉澤 通** (野口 公選 1期)  
担当地区 ■ 平 野口・上原



農振部会

今回農業委員という大役をお引き受けることになりました。三年間、一生懸命頑張ります。

分からぬことばかりですが、皆さんからのアドバイスのによりまして、頑張っていきたいと思えます。

**荒井 正規** (泉 公選 2期)  
担当地区 ■ 常盤 泉



農地部会

地域の代表としての自覚を持ち、集落における農地の維持管理のため、地権者の要望を聞き、耕作放棄地を出さないよう農地の調整を進めるとともに、若い担い手農業後継者の確保に努めてまいります。

**奥原 文登** (上二 公選 1期)  
担当地区 ■ 常盤 上二 (国道147号の西側)



農地部会

農業の発展と地域の活性化に努力します。

農業委員の活動を通じて、これ以上食糧自給率が低下することのないよう努めたいと思います。

**藤巻 勉** (上二 公選 3期)  
担当地区 ■ 常盤 上二 (国道147号の東側)



農振部会

人・農地プランの考え方に基つき、遊休農地の発生防止担い手への農地集積などの活動に取り組みます。

**丸山 清登** (下二 共済推薦 2期)  
担当地区 ■ 常盤 下二 (北村・こまく さ・木中)



農地部会

農政の大改革、米価の下落、TPPと農業者にとって不安要素が多すぎると感じています。

なんとしても魅力ある農業の実現を目指して活動して参りたいと思えますのでご支援をお願いします。

**小林 平八** (下二 公選 2期)  
担当地区 ■ 常盤 下二 (第一・第三・都・陸)



農振部会

今日、農業経営は大きな転換期に入ったと考えています。

経営の安定と魅力ある農業へ結びつけるための活動を柱に、農業委員業務を遂行して行きたいと思えます。

**西山 護** (清水 土地改良推薦 1期)  
担当地区 ■ 常盤 清水 (原村・小海戸・神明原)



農振部会

地域発展のため、地域に愛される、心のこもった思いやりのある農業委員会でありたいものです。

行動・即戦力！

**栗林 陽一** (清水 公選 2期)  
担当地区 ■ 常盤 清水 (長畑・大崎・中の原・寺海戸)



農地部会

農家、農民の利益代表として頑張っていきたいと思えます。

**降旗 隆男** (西山 公選 1期)  
担当地区 ■ 常盤 西山



農地部会

安全で安心な農作物づくりを基本に、特色ある農業を推進し、地域の均衡ある発展と美しい農村の実現に力を注ぎます。



**高橋 賢司** (須沼 公選 1期)  
 担当地区 ■ 常盤 須沼(荒井坊 中村・上手第一・上手第二・堀木戸・東木戸・高樋・西木戸北・西木戸南・原村)



農地部会

若い人達が魅力を感じるような農業の実現をめざして、農業委員としての活動を通じて努力していきたいと思えます。

**太田 正純** (宮本 公選 2期)  
 担当地区 ■ 社 宮本



農地部会

地産地消、特に学校給食などで地場産農産物の利用を拡大することによる、食育の推進に取り組んでいます。農業者に信頼される農業委員になれるように行動したいと考えています。

**鷹巣 夕子** (宮本 議会推薦 2期)  
 担当地区 ■ 社 曾根原・間田



農振部会

社南部では、段丘部分など、稲作の条件が悪い所から、遊休農地が増えています。人・農地プランを作成しても担い手が耕作できない農地に対して、農業を地域で考える環境づくりをしたいと考えています。

**宮田 一男** (笹尾 公選 2期)  
 担当地区 ■ 八坂 大平・石原・切久保



農地部会

農業委員会には、「農家の代表」として、農家の声を農政に反映させるとい役割があります。この役割を果たすことができるよう努めます。

**坂井 一久** (野平中 公選 1期)  
 担当地区 ■ 八坂 野平・舟場・中央



農振部会

後継者不足や耕作放棄地の増加により、将来展望が描けない状況が心配されますが、地域で遊休農地の有効利用と保全支援を進めていきたいと考えています。

**松下 宏行** (千見 公選 1期)  
 担当地区 ■ 美麻 青貝・千見



農振部会

委員に課せられた職務と地域や農業者の皆様からの負託に応えるため、微力ではありますが最善を尽くしてまいります。何分のご支援、ご協力をお願いいたします。

**下限面積は従来どおり**

農地の売買など、権利を移転する場合には、農業委員会の許可が必要となります。この許可を受けるためには、農業委員会が定める面積以上の土地を耕作する必要があります。これを下限面積と呼んでいます。

本年度の下限面積は、これまでと同じく左の表のようになります。

**地区別下限面積表**

地区名	面積 (a)	備考
常盤	50	法定面積
大町	30	別段面積
平社		
八坂	10	
美麻		

**標準賃金を改定**

県農業会議等が定めた農業標準賃労働賃・機械作業標準料金の動向や経営環境を配慮して、水田、畑、果樹の一般作業料金と摘果作業料金を10円増額して800円としたほかは据置としています。

料金表は農家組合を通じて配布しています。

**結婚相談**



農業委員会では、結婚相談を行っています

毎月第2、4土曜日の午後1時から総合福祉センターで、女性の専門相談員がお話を聞き、ご希望の条件に合う方を紹介、マッチングすればお見合いを設定しています。秘密は厳守、無料ですのでお気軽にご相談下さい。

**全国農業新聞**

- 毎週金曜日発行
- 1か月 700円

新しい農政を詳しくわかりやすく解説します。農業経営と暮らしに役立つ情報が掲載されている農業総合専門紙です。

購読申込みは、農業委員会事務局へ  
 ☎0261-22-0420